



教育委員会より

「多久から発信！SDGs」

自分にできることを

私は夏が長く、暑くなっている原因である地球温暖化への対策に取り組み、過ごしやすい地球にしたいと考えています。

まず、地球温暖化とは、人間の活動によって排出される温室効果ガスの増加により、地表付近の温度が上昇している現象です。代表的な温室効果ガスである二酸化炭素は、おもに化石燃料の燃焼で発生します。これらのエネルギーは人間の生活に欠かせないため、クリーンなエネルギーに変えていくことが必要です。

また、私たち一人ひとりが自分にできることを考え、対策に取り組むことも必要です。例えば、節電のために照明をこまめに消したり、冷暖房の設定温度を見直したり、使用していない家電製品の電源を切ったりするなどの小さな実践でも地球温暖化防止につながります。だから、私は少し寒いと感じていた部屋の冷房の設定温度を上げて、少しでも地球温暖化を止めることに貢献したいです。また、買い物に行くときはエコバッグを持っていくようにし、必要のないビニール袋は使わないようにします。

私たちが生きていく未来を過ごしやすいものにするために、自分でできることに少しでもチャレンジしていこうと思います。



東原庁舎西溪校 9年1組
吉田 梨紗

連載

多久市の指定文化財(6)

「前多久家石造供養塔」

南多久町大字下多久一三三九番地一(延寿寺)

前多久家初代の多久太郎宗直は初め津久井氏といひ、仁安2年(1167)に摂津国難波(大阪府)の多久に生まれ、源頼朝の御家人としての数々の戦功により建久4年(1193)肥前国多久荘に12万石を与えられ、地頭職として多久に下向しました。下多久(現南多久)の庄に陣内城(館)を築いて本拠地とし、その後上多久(現多久町)に梶峰城を築き多久氏と改姓しました。旧館陣内城を廃してその跡に菩提寺として創建されたのが安国山延寿寺であると伝えられます。

前多久家は初代宗直から第14代多久宗時まで約340年続き、戦国期に龍造寺氏に追放されました。延寿寺の墓地には宗直以下5代の供養塔があります。寺の資料から宗直(初代)、宗清(6代)、宗澄(8代)、宗次(不明)、宗時(14代)と伝え、左側の大きいものが宗直といえます。形態は室町時代初期以降の五輪塔とみられ市内でも古いものに属します。昭和53年に指定。寺内には同5代の名を記した位牌や、宗直と伝える肖像画掛軸が残ります。

(教育振興課)



▶前多久家石造供養塔



▶初代宗直と伝える肖像画

市民文芸

◆終活を 元気なうちにと 娘に言われ

この暑さには やる気おこらず

梶原恵美子

◆花鳥風月 愛づるゆとりを 失くしゆく

日本の文化 転換期に生く

尾形 節子

◆葉を添えて 薄紅色の 蕾もつ

蓮活けてあり 客待つ部屋に

川浪 信子

◆挑戦をやめた瞬間 老いてゆく

何があっても 走り続ける

野崎 隆幸

◆われ八十路 吟昇段の 試験近し

振り鉢巻 夜は更けてゆく

浦野 嘉恵

◆世直しの 投票に行く 白日傘

武富 律子

◆海の家親子のこゑの 睦まじく

本村 則子

◆薄墨の手紙 読む 夏見舞

富樫 明美

◆迎火のゆるる 仏の 道標

三塩不二子

◆晩夏光 玄界灘の 波頭

大石ひろ女

◆終活で やつとわかった 無駄な物

小副川ヨシエ

◆人間のぬげがらばかり 終電車

松下 修

◆大国が 武や利をかざしのし歩く

西山 残月

◆盆に開く 亡父のアルバム セピア色

田代えみこ

◆無事にオベ 終りましたと ドアが開く

田代まつこ

川柳 《多久川柳会 互選》

俳句 《大石ひろ女選》

短歌 《麦の芽短歌会 互選》